

平成 29 年度 運営企画会議活動方針

運営企画会議議長 田中 米育
運営企画会議副議長 神余 智夫

運営企画会議は、附属の存在意義をも問われる昨今の状況において、各附属学校とともに全附P連も附属の意義を高めるような社会的な課題、また、複数年度を跨ぐ中期的な活動ビジョンに対応するべく、横断的かつ全組織的な会議の役割を果たすために設置されました。全附P連として今やるべきことを検討、評価し、実施担当組織の役割分担などを調整し、諸課題に取り組んでいきます。

1. 65周年ビジョンの策定

中長期的ビジョンを明確にし、対外的にも対内的にも活動の方向性をわかりやすく示します。

- ・70周年に向けての中期活動方針を策定

2. 必要とされる活動についての検討と割り振り

- ・子ども生活支援（貧困）に関する活動（各委員会との連携）
東京学芸大学 CCSS（児童・生徒支援連携センター）との連携、フォーラム等への参加・協力、保護者ルート支援の検討・実践、附属に関する制度上の改善調整、奨学金に関する調査、先進事例・地域連携モデルの情報収集
- ・財政教育プログラムの普及促進、財務省との連携（総務・財務委員会と連携）
- ・いじめ対策に関する活動（総務委員会と連携）
- ・日本ファンドレイジング協会との連携（財務委員会と連携）
- ・特別支援学校等の就労支援活動（特別支援委員会と連携）
- ・民間企業と附属学校の産学連携を模索（財務・研修委員会と連携）

3. 有識者会議を受けて今必要な事業の検討、実施

昨年度から有識者会議の傍聴を続けていますが、附属の課題を有識者と共有し、全附P連にできることを検討し、実施します。

- ・有識者会議の傍聴、勉強会の開催、文部科学省との情報交流
- ・昨年度出版した“この国の未来のために”の効果的配布、及び利用
- ・ムック本“国立大学 附属学校のすべて”の取材、出版のサポート
- ・附属学校の弱点とされる広報活動を検討し実施
- ・課題解決に必要な事業の検討、実施

4. 活動についての検証

- ・新規事業や継続的に行っている事業の検証を行い、活動内容の取捨選択ができるよう議論を行います。

5. 後援会全国連絡組織、及び設立準備室との連携

- ・設立に向けた活動支援
- ・設立後の活動に対する連携

6. その他